



都農町立都農東小学校・内野々分校

学校だより

令和5年6月29日第3号

教育目標「知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健康で人間性豊かな実践力のある児童の育成」

寺迫奴踊の再開に向けて…

コロナが収まった今年は、都農神社の夏祭も以前と同様の形で再開されることになりました。それを受け、都農神社から町内の各小学校へ「奉納」について依頼がありました。校内で協議し、本校では、5・6年生で寺迫地区に伝わる伝統芸能である「寺迫奴踊」に取り組みたいとの声が上がりました。しかし、この寺迫奴踊は休止状態にあることがわかりました。

そこで、まずは寺迫奴踊の歴史などを調べてみました。町史や古い新聞記事等で調べたところによると、江戸時代中期から末期にかけて、寺迫地区に水神踊りとして伝わったとされる寺迫奴踊は、全盛期が明治10年から20年とされ、寺迫地区の菅原神社の秋祭で奉納されたり、地域住民の祝いの席で踊られたりしていたようです。

また、昭和48年の宮崎日日新聞では、文化財指定を目指し、寺迫奴踊の継承に取り組んでいた地域の方の思いが記されていました。その後、後継者不足により、一時中断していた時期もあったようですが、昭和61年頃、再び伝承活動を再開。

当時の宮崎日日新聞によると、寺迫奴踊が宮崎県の青年大会郷土芸能の部で最優秀賞を受賞し、翌年の全国大会に出場したことが書かれています。また、地域の方の話では、その後、オーストラリアまで発表の舞台を広げたそうです。民俗芸能研究家の故鳥集忠男氏は、「歌謡も豊かで本県を代表する水神踊り」と評されていました。

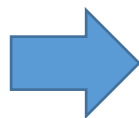
このような伝統芸能が本校区内にあることを知った私は、子どもたちへ、都農神社の夏祭の再開と同時に、休止している寺迫奴踊を再開し、奉納することで盛り上げていこう!!と呼びかけました。今、子どもたちは、夏祭での奉納に向け、地域の方に踊りを指導していただいています。詳しくは本校HPをお読みください。

学校運営協議会始動!!

地域とともにある学校をめざし、本年度は8名の運営委員さんとともに、本年度の活動が始まりました。第1回目の協議会では、参観日と同日に行い、子どもたちや先生方の日常の様子をみていただき、どのようなことに取り組むかを考える場にしました。



東小学校や内野々分校のもつ良さや、改善が必要だと感じることを考え、付箋に書き出し、発表しながら模造紙に貼っていきます。



同じような意見をまとめ、互いの考えを視覚的に確認していく活動を行いました。

最後は、グループで話題になったことを発表し情報を共有していきました。



発表集会～緊張の中での集中～

6月16日(金)の朝の活動では、全校児童がこれまでに学習したことを発表しました。発表時間は短いけれど、1回きりの本番で練習の成果を発揮するのはとても緊張することです。多くの保護者の皆様に見守られながら、子どもたちは生き生きと学習の成果を発揮していました。



あふれる生命力!!～分校の野菜や花々～

毎週2日ほどは朝から分校に行くのですが、学級園のひまわりや生活科で育ててるミニトマトやナスが見事で、驚きました。驚いている私を見る分校の子どもたちの表情は、どこか誇らしげでした。保護者や地域の方々に愛情を注いでもらっているのは、子どもたちだけではないのだと感じた朝でした。



この太くてしっかりしたひまわりの茎。大きな花が咲くのもわかります。



こんなにたわわに実っているミニトマトを初めて見ました!!

【7月の予定】

【本校】

7月 4日(火) 全校集会
 5日(水) 親子読書
 6日(木) 午前中5時間
 7日(金) 午前中5時間
 11日(火) 心の声アンケート
 13日(木) プール納会
 18日(火) エプロン給食
 19日(水) 親子読書
 21日(木) 終業式

【分校】

7月 4日(火) クラブ活動⑤
 6日(木) 午前中5時間
 7日(金) 午前中5時間
 14日(金) プール納会
 18日(火) お話玉手箱、
 21日(木) 終業式

※本校も分校も、7月5日～7日は期末整理週間のため、午前中5時間授業となります。給食後下校します。

